

周囲サポート 産後も必要

富大・研究グループ

富大学術研究部医学系の松村健太講師らの研究グループは7日、妊娠中だけでなく、産後の母親に対して周囲が継続的にサポートすることが、母親の精神的な健康の維持に重要であると示す研究結果を発表した。

環境省の疫学調査「子どももの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」に登録された9万71人を対象に調査した。妊娠中と産後2年6カ月で、親しい友人や隣人、精神的な支えとなる人といった周囲のサポートが存在したか、人に対する信頼感があったかどうかと、産後2年6カ月時の身体的、精神的な健康状態を比較した。

周囲のサポート、人への信頼感ともに「妊娠中はあったが、産後2年6カ月時はない」グループは、精神的な健康状態が、「妊娠中・産後ともにあった」場合に比べて大きく下がった。身体的な健康はほとんど影響を受けなかった。

成果は8月7日に医学系専門誌「ジャーナル・オブ・エビデミアオロジー」にオンライン掲載された。